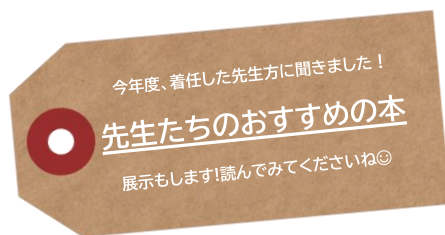


図書館だより

4号



台風が去ってから気温も少しさがり、なんとなく秋めいてきたように感じます。秋といえば“芸術の秋、食欲の秋、読書の秋”とよく言われます。さて、皆さんはどんな秋を過ごしますか？



今年のお月見は
10月1日です◎

★機械科 Y先生

『イチローのすべて』朝日ソノラマ

(内容説明)1994年に出版された本。当時、イチローがオリックスで活躍しシーズン200本安打を記録した。イチローの素顔に迫った一冊。僕は野球をやっていたので、当時、イチローに興味があってこの本を読みました。天才といわれているイチロー。でも、ものすごい努力家。幼少の頃から野球選手になるためにしてきた生活が、どのように送ってきたかわかります。

★機械科 K先生

『風が強く吹いている』三浦しをん 新潮社

駅伝を舞台に、十人十色の大学生が挑戦するサクセスストーリー。バラバラだったメンバーが、一致団結していく描写や、それぞれの思いを胸に走るシーンは、まさに青春。小説といえど、何かに打ち込む姿勢が随所にみられるのがこの小説の魅力です。

図書館の『芸術の秋』を紹介

カメラ好きの生徒+先生たちの作品展

本の中の世界を写真に表現しました！

紹介した2作品以外にもありますので、ぜひ図書館に見に来てください。作品の本も一緒に展示しています。本も読んでみてください！



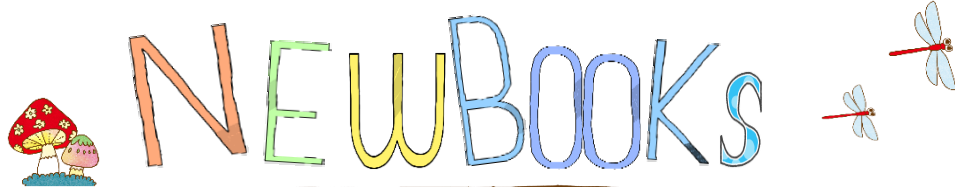
仮想ネットワーク上でくり広げられるゲームを舞台にした近未来 SF 『アクセルワールド』(川原礫/KADOKAWA)の本のイメージを撮影☆

作中で使用される「ブラックロータス」というものをイメージして撮りました。
(撮影した生徒より)



作家町田康さんと保護猫さんの日常生活のエッセイ 『猫のあしあと』(町田康/講談社)の本のイメージを撮影☆

『猫にかまけて』の続編。猫たちとの日常、出会いと別れ。あほな話はひたすら面白くて、生命の話はとても重い。「他を助ける時は、自分を無にする覚悟を持たなければならない」という言葉が心に残った。
(撮影した生徒より)



NEWBOOKS

『重ね地図でわかる！日本列島のしくみ見るだけノート』

鎌田 浩毅(監修) 宝島社

9月1日は『防災の日』です。近年、自然災害が多発しています。学校で教わったような…と忘れてしまった人には、基礎的な知識がわかりやすく説明してくれています。重ね地図がついているので楽しく、そして、興味がわいてくる一冊。これからどんどん起こりうる自然災害に向けて、日本の地形や気候について知っておくことも大切です。

『少年と犬』

馳 星周 (著) 文藝春秋

孤独を感じながら生きる登場人物たちと自分の家族を探し求める犬の多聞。この人々と多聞の運命的な出会いは、互いを救い、心を癒やし温めながら限られた時間を共に生きます。一緒にいてくれてありがとうという気持ちが人々から伝わってきて涙がウルウルしてきます。犬を飼ったことがある人ならきっと登場人物のたちの気持ちに共感できるのではないのでしょうか。犬好きさんたちにオススメです！

祝 第163回直木賞受賞

▶小説

『破局』 遠野遥/河出書房新社 祝 第163回芥川賞受賞
『首里に馬』 高山羽根子/新潮社 祝 第163回芥川賞受賞
『四畳半タイムマシンブルース』 森見登美彦/角川書店
『鬼人幻燈抄』 中西モトオ/双葉社

▶文庫

『日本沈没2020』 小松左京[原作]吉高寿男(ノベライズ)/文藝春秋
『461個の弁当は、親父と息子の男の約束。』渡辺俊美/マガジハウス
『スピノバール THE HEAD 前日譚 アキ・レポート』 江坂 純/集英社
『鬼滅の刃 風のみちしるべ』 吾峠呼世晴・矢島綾/集英社
[ライトノベル]
『りゅうおうのおしごと！12』 白鳥士朗/SB クリエイト7
『灰と幻想のグリムガル16』 十文字青/オーバーラップ
『創約とある魔術の禁書目録2』 鎌池和馬/KADOKAWA
『愚か者にも脚光を！7』 屋熊/KADOKAWA

▶自己啓発・教育

『鬼滅の刃 流強い自分のつくり方』 井島由佳/アスコム
『僕は君たちに武器を配りたい』 瀧本哲史/講談社
『ケーキの切れない非行少年たち』 宮口幸治/新潮社
『おうち性教育はじめます』 フクチマミ・村瀬幸浩/KADOKAWA

▶文化・唄

『北欧女子オーサ日本を学ぶ』 オーサ・イエークストロム/KADOKAWA
『26文字のラブレター』 遊泳舎[編]いとうあつき[絵]/遊泳舎

▶仕事

『看護師という生き方』 近藤 仁美/イースト・プレス